

# スクランブル

編集・発行：大井第二地区スクランブル編集委員会  
品川区大井2-27-20 大井第二地域センター内  
TEL(3772)2000 FAX(5709)7627

URL:<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/hp/menu000007700/hpg000007613.html>



## レツトライ つくろう&あそぼう 6月14日(土)

97名の児童が参加して、大井第一小学校にて行われました。

「つくろう」は理科室でキャンドル作りです。キャンドルは、ベースのろうそくに切り取ってから温めて柔らかくしたシートキャンドルを貼り付けて作ります。

可愛い作品が出来上がって、みな満足そうでした。

「あそぼう」は体育館で、ドッチボールで競いました。違う学年や初対面の子が混じるチームで、最初は遠慮がちなお子たちでしたが、回数を重ねるごとにパワーアップ。最後には迫力あるゲームで大盛り上がりでした。工作も運動も思いきり楽しんで、とても充実した半日になりました。



## 秋の親子バスハイク 10月11日(土)

95名の親子が参加して、「工場見学&BBQ・秋の味覚狩り」が行われました。

まずは「キリンビアパーク取手」で工場見学です。オートメーション化された工場内で大量のビールびんが移動する様子を見ながら、ビール造りの工程について工場のガイドさんから説明を受けました。見学の後は試飲コーナーもあり、大人は好きな種類のビール、子どもはジュースをいただきました。

次は、かすみがうら市の古宇田農苑に移動して、お待ちかねのBBQです。食べ応えのあるお肉と野菜でお腹いっぱいになった後は、ぶどうと梨の味覚狩り。美味しそうな実を探して、みんな一生懸命です。

ぜいたくなデザートをいただいた後は、段ボールでそり遊びをしたり、バッタやとんぼを追いかけて遊びました。楽しい事が盛りだくさん、あっという間の一日でした。



青少年対策地区委員会は区内13の地域センターごとに行行政の施策に協力し、青少年の健全育成を目的として地域活動を行うために組織されています。町会・自治会・PTAなどを構成メンバーとして連絡調整を図り、地域の実情に応じたボランティア活動をしていきます。

今回は26年度実施された事業からいくつかをご紹介します。

【角矢・和田・檜山】

# 地区委員会事業に参加してみよう!

## ボランティア事業 募金活動 11月28~30日(金~日)

伊藤学園・大井第一小・山中小から参加した23名のボランティアが、大井町駅周辺で行いました。

今回の「ハンド・イン・ハンド募金」は「世界の子どもの笑顔のために」を合言葉に大人から子どもまで、身近なところでできる国際協力活動です。

参加者は寒さに負けず、最後まで声を振りしぼって「募金にご協力お願いします!」と通行する方々に呼びかけました。

児童・生徒からは「優しい人がたくさんいて嬉しかった」「また参加したい」という感想がありました。



## ボランティア事業 清掃活動

11月2日(日)

伊藤学園生徒会が中心となり、228名が参加して行われました。

伊藤学園から大井町駅前までを6つのコースに分かれ、ゴミを分別しながら回収していきます。

自分たちが普段何気なく通っている近隣の歩道を、植え込みの中まで注意深くゴミを探しながら進み、作業を終えると、とてもすがすがしい気持ちになりました。



## スキー・スノーボード&雪あそび 2月1日(日)

毎年恒例となっている人気行事「スキー・スノーボード&雪あそび」が行われました。たくさんの応募の中から抽選で選ばれた約80名の参加者は、当日、暗いうちから大井第二地域センター前に集合し、貸し切りの大型バス2台で、長野県諏訪郡にある富士見パノラマリゾートへ。

今年は穏やかな晴天に恵まれ、キラキラの雪景色。地区委員さんからの説明が終わると、みんな準備ももどかしく白いゲレンデへと飛び出して行きました。

集合時間までは完全な自由行動で、家族でファミリーゲレンデを滑ったり、急斜面を滑走する上級者、スクールに入ってステップアップを目指す人など、思い思いに楽しみました。ちびっ子たちは、そり遊びや雪合戦ができるキッズパークで歓声を上げていました。

帰りのバスの中では、疲れて眠ってしまう人もいましたが、雪とのふれあいを満喫する一日は、冬のすてきな思い出になったことでしょう。



事業名	実施時期	場所
レツトライ つくろう&あそぼう	6月	未定
早朝ラジオ体操	7/21(火)~7/31(金)	各町会会場
区民まつり	7/25(土)	未定
秋の親子参加事業	10月	未定
ボランティア事業 清掃活動	11月上旬	西大井~大井町駅周辺
ボランティア事業 募金活動	11月下旬~12月上旬	大井町駅周辺
親子参加事業 雪あそび	2月	未定

大井第二地区委員会では、27年度も左のような事業を計画しています。

それぞれの募集については、学校でのポスター掲示・チラシ配布や、町会掲示板・回覧板でお知らせします。



# 発見! 気になるお店♪

ふんわり  
～山崎糸綿～



大井町駅から光学通りを上り、大井第二郵便局を過ぎたところに小さな手芸屋さんがあります。ここが「ふんわり～やまざきしめん～」さんです。店頭にはオーナーさん手作りの作品がかわいくディスプレイされていて思わず立ち止まってしまいます。

オーナーさんのご実家が北千住で布団兼手芸屋さんを営まれていましたがやむなく閉店、「大好きだった実家のお店の雰囲気を残したい」とここにお店を開いたそうです。この場所は、お孫さんが学校帰りにランドセルを置いて遊びに行けるという立地の良さから決断。お孫さんは「ばあばのお店」と言っではお友達連れてくるとか。なんだか、ほっこりした気持ちになります。

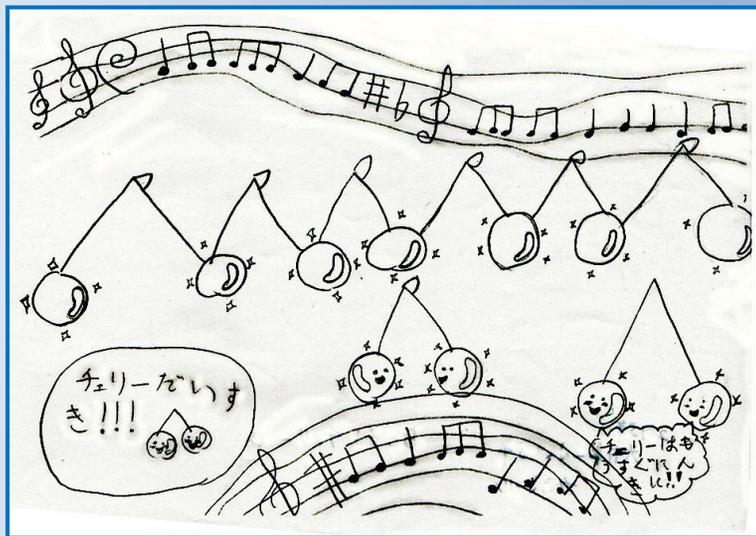
店内は色とりどりの毛糸や布、ボタンや手づくり品がギュウッと詰まっています。また、手芸教室はできないけど「余った端切れや毛糸で何か作りたいんだけど」という相談にはのってくださるとか。長座布団やミニ座布団枕の販売、布団の打ち直しもして下さるそうです。



「布の手触りと色に囲まれているのが幸せなんです」というオーナーさんの気持ちが詰まった街の手芸屋さん。いつまでもここで手作りの温かさとお孫さんの安心を見守っていて欲しいですね。

営業：火曜～土曜、10時頃～17時半頃 【高木・嶋村】

おやめるよチェリー  
大井第一小3年 カミミールさん



たくさんのチェリーが楽しげに並んでいて、大好きな気持ちが伝わってきますね! 上下に配置された音符も雰囲気の演出に一役買っています。この調子で好きなものをどんどん描いてみよう!



イラスト

くらんぶる

見る目があるね。

ママ…節分には豆まきをした後、自分の年に1個足した数の豆を食べるんだよ。  
花子…太郎は5歳だから、6個食べられるね。  
太郎…じゃあ、ママは、21個だ。  
ママ…そ、そうだね。  
花子…それって大サービス?  
ママ…えっ…。  
ママは、太郎くんが20歳だと思ってくれていて、とつてもうれしかったんだね。でも、花子おねえちゃんの言葉で現実を引き戻されたようです。(笑) 【真杉】

# いきいき行ってみ隊!



『山中いきいき広場』は山中小学校の校内の一角にあり、平成11年から活動が始まりました。中高年世代が介護のお世話にならずに元気でいられるよう、教室プログラムや地域活動等を通して交流できる場です。区内の人であれば誰でも利用でき、ボランティア団体の山中いきいき



広場運営協議会によって運営されています。また、ふれあい事業として、山中小学校の1～6年生に、茶道や生け花を教えたり、4～6年生にクラブ活動の指導もしています。地域の方や元校長先生が講師となって、折り紙、健康太極拳、ヨガ、エクササイズ、生け花、パソコン、茶道、囲碁・将棋、絵手紙などの講座があります。キッチンもある明るいお部屋で数々の教室が開かれ、現在は40代から80代の方まで通っています。その中のひとつ、生け花教室は20名ほどが通い、10年以上続けている方もいます。用意するものは、はさみだけなので気軽に参加できます。早く仕上げる方、先生にじっくり教わりながら生ける方、自分のペースで取り組めます。



講師の先生は山中小学校の児童に教える日もあり学校の玄関には、子ども達の生けた花が飾られていることもあります。

絵手紙教室は25名ほどの方々が楽しく活動されています。1月の教室では千両の実をテーマに、思い思いの絵手紙ができあがっていました。

活動開始当初はこのような広場は全国的に珍しく、自治体の視察やテレビで紹介されたこともあるそうです。受講者からも好評で、「活動に参加するうちに顔見知りも増え、欠席されると『どうしているかしら』と、互いの健康確認の場にもなってるんですよ」「昼間は子ども達の声が聞こえてきかれました。興味を持った方はお気軽に足を運んでみてください。

『山中いきいき広場』

(<http://www.yamanaka-iki.jp/>)

【飯高・上村・落合・長野・畑】